

2022 年度事業計画書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人フリースクール札幌自由が丘学園

2022 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症への感染対策を行いながら、できる限りの教育活動の充実を目指す。

【教員長期社会体験研修の受け入れ】

北海道教育委員会より教員長期社会体験研修生を一名受け入れる。授業を通して生徒との交流を図ることが研修内容の主体となるが、教育相談や法人運営に関わる活動など、1 年をかけて本学園の様々な事業について研修を行いたい考えである。3 名が常駐する体制となったことで、生徒のサポート体制はより充実させることができるだろう。また、研修生の学校現場の知見から本学園職員が得られるものも大きいと考える。研修生が本学園職員に学校教育についてレクチャーすることも検討したい。

【小学生の受け入れのために】

小学生の受け入れ体制を整えることが 2021 年度の総括の一つであった。2022 年度は小学生と中学生が合同で学習できる体制のために、英語では「スピーキング&リスニングクラス」の新設、算数・数学では一斉授業と並行してワークでの個別学習を行うこととした。英語の「スピーキング&リスニングクラス」は英会話・リスニング・簡単な英単語の練習などを行う。小学生だけではなく、英語に苦手意識をもつ中学生にとっても楽しく英語を学習できる内容を目指す。算数・数学も中学生の学習進度の差が大きいことから、(小学生も中学生も) 授業の進度に合わない生徒は個別で学習できるよう、ボランティアスタッフなどの協力を得ながら進めていく。

【オンライン授業の充実】

電子黒板を一台導入した。まずは映像やホワイトボード機能などを使いながら、視覚的にわかりやすい授業を行っていく。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況に関わらず、2022 年度中に zoom での授業配信を行いオンラインでの授業実践を積み重ねる。2023 年度以降の展開として、通学することが難しい生徒が、(本学園への通学はせず) オンラインのみで学習やコミュニケーションを行う体制をつくることを検討したい。これまでのオンライン授業の実践では、授業以外にゲームなどを通して生徒同士の交流を図ることで、オンラインをそれまで利用していなかった生徒の利用につながったということがあった。学習塾等、オンラインでの学習支援を行っている企業・団体はいくつもあるが、不登校児童生徒の支援は学習支援にはとどまらない。本学園の実績を生かした、心のケアや新たな人間関係を築き上げる場をオンラインでも行っていけるよう、コミュニケーションツールとしてのオンライン利用についても実践を重ねていく考えである。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	対象者数
① 不登校児童生徒の学習に関する支援の事業	1 毎日の学習（授業形式と個別学習の指導・援助 オンライン授業を含む）	毎週 （月～金）	学園	2～3名	10～25名
	2 夏期・冬期休業期間中の特別講習	7・1月	学園		
	3 体育活動の実施と指導	6～2月	札幌市中央体育館・札幌市美香保体育館・サッポロテニススキー場ほか（体育授業）		
	4 野外活動・宿泊活動・文化芸術活動など各種の体験活動（特別活動）の実施と指導	6月～2月	野外活動：藻岩山（登山）、銭函（マリンスポーツ）、強歩遠足（豊平川河川敷）、市内各公園など 宿泊活動：宿泊学習（場所未定） 文化芸術活動：市内各美術館・劇場など（芸術鑑賞）		
② 学校復帰と自立を求める若者への相談の事業	1 高校進学に関する指導（特別授業として）	6～7月	学園	2名	10～25名
	2 同上（日常的な関わりとして）	随時			
	3 個別相談	随時			
	4 三者面談	7月 12月			
	5 学園開放デー	5～2月	学園	2名	10名
③ 前各号に関する児童生徒若者の父母及び医療・カウンセリング専門家との各種の連携の事業	1 保護者懇談会	随時	学園	2名	5～10名
	2 不登校相談会	5月～3月	学園	2名	10名
	3 高校進学説明会（保護者・外部向け）	6月,10月	学園	2名	20名
	4 収入に応じた授業料減額制度実施	4月～3月	学園	3名	若干名
④ 小学校、中学校、高等学校その他教育機関との連携の事業	1 関係各中学校との定期的な交流（出席や成績などのデータ報告）	通年	学園	3名	
	2 教育委員会等の研修の受け入れ（教員長期社会体験研修）	通年	学園	3名	5～15名
	3 北星学園大学実習生の受け入れ（社会福祉学部・文学部）	6・8月	学園	3名	5名
※定款事業に付随する事業 法人の広報に関する事業 （事業の普及および賛助会員の募集）	1 学園だより「希望の樹」の作成および配布	随時		2名	330名
	2 HPの更新	通年		2名	
	3 SNSアカウントの運用	通年		2名	

※従業者は法人職員としては2～3名だが、他に教員長期社会体験研修者1名、非常勤講師とボランティアスタッフが数名が携わる。

(2) その他の活動

特記事項なし